

自発的健康診断受診支援助成金

深夜業に従事する方の



自発的健康診断受診支援助成金を 受けました

●長年タクシーに乗ってらっしゃるんですか？

私はタクシーの運転をして30年、この会社に就職して18年になります。今年64歳です。定年は60歳なのですが、会社の再雇用制度により65歳まで勤務できるので、続けて働いています。

●この助成金をどこでお知りになったのですか？

会社が募集したので申し出ました。申請書も会社が取りまとめて提出してくれました。

●受けようと思われたきっかけは？

私は10年ほど前、脳梗塞を発症しました。ものが急にまぶしく見えて病院にいき、そのまま入院しました。3年前にも再度発症して、このときは職場で「口がまめってないよ。」といわれ、受診したら血糖値が220まで上がっていました。

今年、末の娘がようやく高校を卒業しましたが、嫁にやるまでまだまだ倒れられません。それで、2年に1回は人間ドックに入っています。

●日常気をつけている健康管理は？

禁煙を今も続けています。1回目のときには失敗したのですが2回目で何とかやめられました。禁酒もせにゃなんのですが、仕事柄、眠る時間が不規則で1杯飲まないと眠れません。毎日ビール1缶だけ勘弁してもらって飲んでます。好きだった缶コーヒーもやめました。

また、休日はできるだけ汗をかくようにしています。趣味の菜園で、ずいぶんグリーンピースを収穫しました。食事にも注意しているのですが、食



杵築・国東合同タクシー
運転手 上田 忠臣さん

事時間がどうしても不規則になるのが悩みです。

●どんな項目を受診されましたか？

大分総合健診センター（OHC）に相談して、日帰りの人間ドックを受けました。

●睡眠時無呼吸症候群の検査も一緒に受けられるんですよ

私は心当たりがなかったので、受けませんでした。

●受けてどうでしたか？

血糖値が思ったより下がっていて安心しました。費用は、いったん自分で払って後から4分の3が戻ってきました。手出しは2,000円くらいですみ、助かりました。

永松久治社長に聞きました



杵築・国東合同タクシー
永松 久治社長

創業は昭和14年です。杵築、国東、安岐に営業所があり、従業員が55名、うち運転手が45名います。平均年齢が55歳8ヶ月と高齢化して、健康診断で異常のない人のほうが少ないような状況です。健康診断はしていますが、なかなか、それ以上の健康管理ができないのが現状です。

助成金は、大分産業保健推進センターからご案内をいただいたのがきっかけで、以後毎年、希望者を募って手続きをしています。今年は14名が受けました。

会社の健康診断より人間ドックのほうが手厚いですから、健康が気になる従業員は受けているようです。

従業員の健康は会社の財産ですし、できるだけことはしたいと思っています。

元気でないとお客様に笑顔が出ませんし、事故につながりますから。



OHC 吉川素子保健師に聞きました。

大分総合検診センター（OHC）では、健康診断に見られる方で、ちょっと不安かな？と思われる方には、途中でいつでも相談をうけ、人間ドックなどをお勧めしています。皆さん仕事も忙しく、費用もかかり、なかなか受けられないのですが、深夜業に従事される方には助成金があるので、ずいぶん勧めやすいです。この不況下、7,500円だって助かりますからね。



健診チームの皆さん



健診車



SAS健診の様子

血糖値が高いのは、危険なサインですが、目立った自覚症状があるわけではなく、気づかない方もたくさんいます。大事に至る前に、定期的にチェックすることをお勧めします。生活習慣病をなおすには、私たちがサポートしますが、本人が、食事や運動を見直して頑張らなければならず、禁煙ひとつにしても、とても難しいのです。上田さんはよくがんばられていると思います。

睡眠時無呼吸症候群(SAS)の検査もされるのですか？

JRの事故で話題になり、心配される方も多ようです。エプワースの問診票でチェックして、受けたほうが良い方には人間ドックにあわせてお勧めしています。助成金もありますからね。